

ふれあいニュースレター

【政府原子力被災者生活支援チームからのお知らせ】

今号の ほんと・ニュース

おおちゃん小法師絵付け会

6月19日、新潟県柏崎市で行われた大熊町民の皆さんの交流会で、町のキャラクター「おおちゃん」をモチーフとした「おおちゃん興き上がり小法師」の絵付け会が行われました。

できあがった小法師は、これまで町がお世話になった方々へのお礼として配布されます。



(写真提供:大熊町)



夏期の特例宿泊を実施します

(宿泊可能期間: 7月18日～8月31日
(最長44泊45日))

通常は宿泊が禁止されている避難指示区域内において特例的に宿泊を認める「特例宿泊」を今年度の夏期も行います。

今年度は、実施市町村からの要望を踏まえ、これまでの特例宿泊に比べ、より長い期間の宿泊が可能となります。

■ 実施予定市町村及び宿泊可能期間

実施市町村	飯舘村	南相馬市	川俣町	葛尾村	川内村
宿泊可能期間	7月18日(土)～8月31日(月)				8月8日(土)～ 23日(日)

■ 申し込み先

- ◆川内村を除く各市町村共通 0120-212-477
平日 8:00～20:00、土日・祝日 8:00～17:00
- ◆川内村(産業振興課) 0240-38-3804
受付時間 9:00～17:00 (土日祝除く)



詳しくは、原子力被災者生活支援チームのホームページをご覧ください。
http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/kinkyu/hinanshi/ji/2015/0710_01.html

■暮らし関連2



「この街で育つ
子どもたちの
将来のために」

■暮らし関連3



「今年もおいしい
お米を作り
たい」

■NEWS等4

・各自治体の
放射線相談
窓口をご活
用下さい



「この街で育つ子どもたちの将来のために」

原町中央産婦人科医院の院長だった前代表理事が、「子どもたちや妊婦さんの環境を少しでもよくしたい」「復興に必要なのは安全・安心という気持ちの問題であり、まず除染」という思いから知人に呼びかけ、震災の年の7月に除染方法の研究会を始めました。

自分たち市民の手でデータを揃え、蓄積することが大事と考え、除染の前後できめ細かく放射線量を測定し、得られた数値を整理してホームページで公表し、研究者の方に利用していただいています。

「閉じこもっていた方が健康に悪い」ということで、線量データつきのおすすめ散歩コースマップを作っています。屋外に子どもたちの遊び場も作りました。

複数の団体と協力し、有識者や農業者を招いて「アグリサイエンスカフェ」と題した勉強会を仮設住宅などで定期的に行っています。また、放射能の影響を受けない水耕栽培の実験をしたり、食べ物を自分の手で調理し、測定して食べるイベントを開いたりもしています。

前代表理事の遺志を踏まえ、省エネ・再生可能エネルギーを農業再生とともに学んでまちづくりや復興に生かす団体（一般社団法人 えこえね南相馬研究機構*）も設立し、2年前には、



散歩コースマップの一部（ホームページより）



幅広い年代の仲間とともに、安全・安心からまちづくりに至る課題に取り組んでいます。

一般社団法人 南相馬除染研究所
事務局理事 箱崎 亮三 さん

小高区に近く、自然の豊かな上太田地区に、学びと交流の場をつくりました。共通の問題意識を持った団体との交流をさらに進め、挑戦を続けて行きたいと思っています。



ビニルハウスでトマトなどの水耕栽培の実験をしています



太陽光を発電と農業の両方で利用する実験(2014年8月)(*)



一般社団法人 南相馬除染研究所
福島県南相馬市原町区橋本町1-3-2 西棟1F
連絡先: 0244-26-9494
URL: <http://mdl.or.jp/> 散歩コースマップもこちらから)



「今年もおいしいお米を作りたい」

酒田地区は町内で最初に農地除染が終了しました。昨年3月末の除染の終了を見込んで、営農再開に向けた活動のため、震災前の「酒田農事組合」を母体として、「酒田農事復興組合」として発足しました。現在は組合員の中で委託された10戸ほどの農家が、農地保全や実証栽培などの活動を行っています。

除染が進む中、実証栽培の水田を先行して除染してもらいました。また、長期間使っていなかった農機は、農機メーカーに勤めていた組合員がバッテリー交換や修理をして、作業の準備を進めました。



販売に向けて、田植えにも気合いが入ります

去年は、水田に地下水を引き、コシヒカリと「天のつぶ」を栽培し、豊作に恵まれました。収穫した米はいろいろな場所で試食に提供し、「おいしかった」と言っていたことができました。町役場に「売っていないか」との問い合わせが何件もあったそうです。

除染で表面の土をはぎ取った後に別の場所の土が入っているので、菜の花やレンゲの種をまき、ゼオライトなどを入れて、地力の回復を目指しています。

小麦の栽培も行っており、収穫後に放射性物質の検査を行って安全性を確認する予定です。



離れた避難先から毎日のようにここに来て作業しています。

酒田農事復興組合
(左から)

松本 清人さん、半谷 好啓 副組合長、
鈴木 義雄 組合長、佐藤 一男さん

今年は販売に向けた米の作付を行いました。

直接種もみを田んぼにまく「直播」や、請戸川の水を使った試験栽培を始めるなど、営農再開に向けた活動を広げています。



田んぼの地力回復に取り組んでいます



川の水を使った試験栽培も始めました



酒田農事復興組合
福島県双葉郡浪江町酒田地区



各自治体の放射線相談窓口をご活用下さい

各自治体では、健康影響を始めとした放射線に関するご不安やご質問にお答えする体制を整えています。以下の相談窓口にお問い合わせ下さい。

	組織名称	電話番号
田村市	原子力災害対策課	0247-82-1116
南相馬市	健康福祉部 健康づくり課	0244-24-5381
川俣町	原子力災害対策課	024-566-2111（代）
広野町	放射線対策課 放射線相談室	0240-27-4162
楢葉町	放射線対策課	0240-25-2111（代）
富岡町	[町内線量・健康管理] 健康福祉課 [食品・飲料水の検査] 産業振興課 [除染関連] 復興推進課	0120-33-6466（代）
川内村	産業振興課 除染係	0240-38-3804
大熊町	健康介護課	0120-26-3844（代）
双葉町	[線量計貸出事業、内部被曝検査関連] 健康福祉課 [町内線量] 住民生活課	0246-84-5200（代）
浪江町	[健康管理] 健康保険課 放射線健康管理係 [除染関連] ふるさと再生課 除染対策係	[健康管理] 0243-62-0173 [除染関連] 0240-34-0228
葛尾村	[健康管理] 住民生活課 健康福祉係 [除染関連] 地域振興課 地域づくり推進係	[健康管理] 0247-61-2850（代） [除染関連] 0240-29-2113（代）
飯舘村	健康福祉課	024-562-4216



「ふれあいニュースレター」バックナンバーのご案内

過去の「ふれあいニュースレター」につきましては、以下のアドレスよりご覧いただくことが可能です。ぜひご覧ください。

http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/kinkyu.html#info_fureai_letter